

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1087	(H.24)No.	1087
-----------	------	-----------	------

事務事業名		環境委員活動事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
生活環境部		環境対策室		名和健治	63-7496
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成 4 年度 ~ 平成 年度	名張市環境委員設置要領			

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	2	ごみの減量化とリサイクル
	小施策	1	ごみの減量化
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	271503
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	ごみゼロ・リサイクル推進事業	
項	清掃費	(小事業名)	
目	ごみ対策費	環境委員活動事業	

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>・地域での環境リーダーとなるべく地域環境推進員の届出を受け、市民のごみ分別、減量化の意識向上を図ります。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>・ごみの減量化と徹底した資源化を図ることにより、真のごみゼロ社会の構築を目指します。</p>
---	--

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 (報償費、活動物品現物支給)		
主な事業の実績・計画	・地域環境推進員活動費報償(224名) 1,568千円 ・消耗品費 410千円 (活動物品の帽子、腕章を 購入し、現物を地域に支給。)		・地域環境推進員活動費報償(225名) 1,575千円 ・消耗品費 410千円 (活動物品の帽子、腕章を 購入し、現物を地域に支給。)		平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
	・地域環境推進員活動費交付金 ・消耗品費		・地域環境推進員活動費交付金 ・消耗品費		・地域環境推進員活動費交付金 ・消耗品費	・地域環境推進員活動費交付金 ・消耗品費	・地域環境推進員活動費交付金 ・消耗品費
直接事業費	1,978千円	1,284千円	1,284千円	1,284千円	1,284千円	1,284千円	1,284千円
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	(0)	1,978	1,284	1,284	1,284	1,284	1,284
人工数							
職員	0.33人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等	0.10人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
概算人件費	(0千円) 2,579千円	2,445千円	2,445千円	2,445千円	2,445千円	2,445千円	2,445千円
+ 総事業費	(0千円) 4,557千円	3,729千円	3,729千円	3,729千円	3,729千円	3,729千円	3,729千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	地域づくり組織や市民公益活動団体等と協働 で行う美化活動の参加者数	-	-	-	-	-
	実績		3,600	3,300	3,300	4,000	-
成果指標	目標	市内で発生する廃棄物が適正に処理されて いると感じている市民の割合	-	-	-	-	72.0
	実績		69.4	72.3	76.2	78.1	-
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成23年度から、市の委嘱制から地域の届出制に変更し、各地域の課題及び実情に対応した自主的な活動を目指し、無報酬で、適任者の選出人数、推進員の名称等も自由としたが、ある程度の謝礼がないと選出が困難であった。	各地域の自主的活動が熟成し、各地域の課題及び実情に対応した活動を多くの推進員で、役割を分担し、無報酬で、自主的な活動をさらに目指していく必要がある。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成23年度から、市の委嘱制から地域の届出制に変更し、各地域の課題及び実情に対応した自主的な活動を目指している。	地域づくり委員会代表者からは、地域環境推進員の役割は、大きな負担にもなることから、地域から選出し、役をお願いするには、一定の御礼的な報償が必要である。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	研修会、情報提供等の機会を増やす。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	報償は、地域活動の交付金等として、地域課題の実情にあった取組みに対して交付する方が、個人の活動ではなく、地域環境を推進するリーダーと地域が一帯的な取組みに発展する。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	市が、決まった帽子や腕章等を購入配布するよりも、地域オリジナルの活動物品を購入又は作成する予算を交付する方が、地域活動として発展する。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	各地域ビジョンに環境の取組みはある。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	各地域ビジョンの地域特性を分析し、協働していく。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	ごみの収集及び処理を行っている伊賀南部環境衛生組合と地域環境推進員の連携を強化する必要がある。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項